

平成 25 年度札幌市行政評価 外部評価報告書の構成 (案)

全体を 6 章に分けて構成。各章の内容は以下のとおり。

内 容	備 考
報告にあたって	1,000 字程度。委員長に作成を依頼
第 1 章 外部評価の概要	
1 評価の目的と対象	
2 評価項目	評価の観点
3 市民参加の取組	委員会と市民参加の取組の連携について記載
4 評価対象事項の決定	対象選定理由
5 活動の経過	
第 2 章 市民参加の取組	
1 取組の概要	ワークショップの実施と委員会との連携について
2 対象テーマの設定	事前勉強会資料と同一内容
3 開催日程	事前勉強会：9/12、ワークショップ：9/29
4 参加者	募集方法、最終参加者数（年代・性別・居住区別内訳あり）を記載
5 実施方法	各テーマ 6 グループで議論
6 実施結果とその活用	ワークショップにおける市民意見の概要、傾向分析及び指摘への活用について
7 市民参加の取組を実施して	行政評価委員会による感想
第 3 章 外部評価～総括コメント	資料 2 のとおり
第 4 章 外部評価～各施策及び関連事業の評価結果	第 4 章のイメージは、P. 2～3 のとおり
1～3 各評価対象施策別に作成	
① 施策の概要	施策の概要と評価対象事業の一覧を掲載
② ヒアリングの論点・視点	ヒアリング論点となった事項等について記載
③ ヒアリングの印象	ヒアリング時の状況等を記載
④ ワークショップを通じて	委員の感想や WS の結果をどのように受け止めたか等（「日常の身近な暮らしの安心の確保」関係施策を除く）
⑤ 指摘事項	資料 4 のとおり
第 5 章 行政評価委員会の委員構成	委員名簿を掲載
第 6 章 参考資料	
1 局別評価対象事業一覧	事業名と指摘事項の有無
2 市民参加の取組 結果報告書	ワークショップ運営業務受託業者作成

第4章 外部評価 ～施策・事業の評価結果

※本章に掲載の各施策・事業等の情報は、平成24年度施策評価調査及び事業評価調査から抜粋している。

(1) 施策「2-3-2 日常の身近な暮らしの安心の確保」及び当該施策に関連する事業

① 施策の概要

第3次札幌市新まちづくり計画に掲げる重点課題の一つ「安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実」の取組の一つである当施策は、地域の防犯活動の促進や、消費者・女性に対する被害の未然防止、食の安全・安心の推進等の事業を実施している。

このうち、今年度の外部評価の対象とした事項は、消費者センターや、DV等の女性に対する被害の救済・未然防止に関連する6事業で、平成24年度の決算総額で106,820千円である。

【a.施策情報】

政策目標	安心して暮らせるぬくもりの街			
重点課題	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実			
施策	2-3-2 日常の身近な暮らしの安心の確保			
施策の考え	市民が安心して日常の生活を送ることができるよう、地域の防犯活動の促進や、消費者・女性に対する被害の未然防止、食の安全・安心を推進するなど、身近な暮らしの安心を確保する取り組みの充実に努める。			
達成目標 (評価対象事業 関連分を抜粋)	指標名	現状値 (H22)	実績値 (H24)	目標値 (H26)
	障がいのある人向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施区数	—	5区	10区
	札幌市配偶者暴力相談センター相談件数	1,204件	1,464件	1,000件
評価対象事業の 予算・決算額	平成24年度予算額	108,060千円	平成24年度決算額	106,820千円

【b.評価対象事業】

事業名	事業の概要	24年度予算	24年度決算
消費者センター運営費	消費生活相談、商品テスト、各種講座の開催、物価に関する調査、展示コーナー管理等の実施。	71,853千円	71,251千円
消費生活安定促進事業費	札幌市消費生活条例第47条に基づき、市民の消費生活の安定及び向上を図るための施策の基本的事項等を調査審議するため、審議会を設置する。	1,525千円	977千円
消費者行政活性化事業費	北海道消費者行政活性化基金を活用した消費者センターの機能強化。	9,282千円	11,040千円
消費者被害防止ネットワーク事業費	関係機関とのネットワーク体制により、高齢者と障がいの消費者被害の早期発見と救済、未然防止を図る。	1,710千円	1,706千円
DV対策推進事業費	配偶者暴力相談センター・ステップハウス運営管理、民間シェルター事業補助、ボランティア育成・活動支援等を行う。	15,973千円	15,662千円
女性の安心サポート事業	女性が安心して暮らしていけるよう、性暴力被害に対する支援や多様なメディアを活用した啓発を実施する。	7,717千円	6,184千円

